

結婚の希望が叶うまちに

結婚しないことも選択肢の一つです。
そんな時代だからこそ、結婚したい人の希望を叶えたい！

くわしくは 地方創生推進課 地方創生推進係 ☎(25)5322

団塊の世代が結婚した昭和40～50年代には、職場の上司や親戚、隣近所のおじさんやおばさんなど、いわゆる仲人と呼ばれる方々が相手を紹介し、お見合い

を経て結婚というパターンが存在しました。昭和50年の時点で日本の生涯未婚率は※は、男性21%、女性43%に過ぎず、結婚することが当然のように思われていた時代でした。

こうした流れの中、晩婚化が進むとともに、平成を境に生涯未婚率も急速に高まっています。平成27年には、男性23・4%、女性14・1%となっており、結婚しないこともごく当たり前の世の中になりました。

結婚の希望

市の生涯未婚率(平成27年)は男性27・0%、女性11・5%となっています。女性は日本の生涯未婚率を下回っているものの、男性は上回っており、結婚しない方が増えています。一方で、平成27年に市が実施したアンケートでは、未婚者のうち9割以上の方が「将来結婚したい」と回答しています。また、結婚に対して「人生や生活に張り合いが出る」「子どもが持てる」

希望を叶えたい

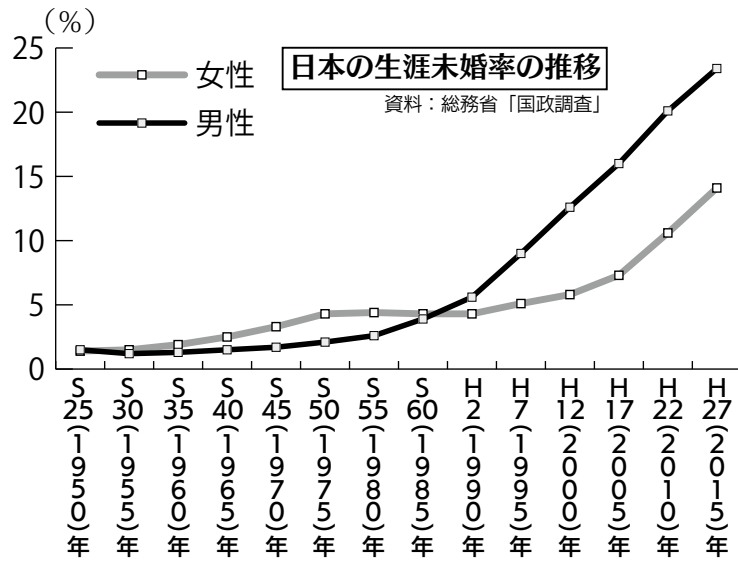
アンケートでは、結婚の障害として「出会いがない」「経済的に難しい」といった意見が多くありました。そこで市は、平成27年度から縁結びイベントを実施する団体に補助金を交付し、28年度からは、市主催の縁結びイベントも実施して、結婚を希望する独身男女の出会いの場を提供しています。また、平成29年度から結婚新生活支援補助金として、新婚世帯に住居費の一部を支給して、経済的な理由から結婚をためらう方の

後押しを始めました。

その他、県や県内の市町、関係団体とともに、県民総ぐるみで結婚・子育てを応援するための「とちぎ未来クラブ」を設立しました。事業の一環として、マッチングから交際のフォローを行う、とちぎ結婚支援センターの運営や、とちぎ結婚応援カード「とちマリ」を配布して、結婚前後のカップルに協賛事業者からのサービスを提供するなど、結婚の希望を叶えるための取り組みを行っています。

希望が叶うまちに

結婚しないことも当たり前になりつつある今、結婚



しかし、バブル期後、さまざまな価値観が生まれ、個人の考えが尊重されるようになると、結婚しないことも尊重するべき選択肢の一つとなりました。結婚を強く勧めることがセクシャルハラスメントと認識されることもあり、仲人をする人も少なくなっています。

たくさんあります！ 結婚支援制度



① につこう縁結び支援事業補助金

結婚を希望する独身の男女へ向けて、新たな出会いや結婚の機会を創出するイベントを行う団体を対象に補助金を交付して、縁結び事業を応援します。

平成29年度は日光商工会議所が実施した、縁結びイベントに補助金を支出し、10組のカップルが成立しました。今年も実施団体を募集しています。

♥補助額：1団体あたり上限20万円

② 縁結びイベント

市が主催する縁結び事業を開催します。平成29年度は2回開催しました。男性45名、女性43名が参加し、17組のカップルが成立しました。

今年度も3回の開催を予定しています。内容が決まり次第、市の広報紙やホームページなどでお知らせします。

③ とちぎ結婚支援センター

平成29年1月にオープンしたとちぎ結婚支援センターは、会員登録制のマッチングシステムで1対1の出会いをサポートします。

また、交際中も結婚相談員が丁寧にフォローします。平成30年3月末までに男性1,181名、女性834名が登録しています。440組のカップルが成立し、うち5組が結婚しています。

入会登録料は1万円(登録期間2年間)です。



④ とちマリ



新婚夫婦または2年以内に入籍を予定しているカップルに「とちマリ」カードを発行します。

事業に協賛する店舗や施設でカードを提示すると料金の割引や住宅ローンの金利優遇、食事の際にドリンクサービスなど独自の特典サービスを受けることができます。

⑤ 結婚新生活支援補助金

新婚世帯に住居費や引越費用を最大30万円まで補助します。

平成29年度は17組の新婚世帯に補助金を交付しました。

※支給には条件があります。

♥制度の問合先

①②⑤については…
地方創生推進課 ☎25-5322

③④については…
とちぎ未来クラブ
☎028-688-0880
<https://www.tochigi-mirai.jp/>

を無理に勧めることはできません。だからこそ、皆さんの周りに、結婚したいけど「出会いがない」「生活が心配」という方がいましたら、こんな制度があるよと教えてください。

市や県が取り組んでいる事業や制度は、結婚を応援する小さな後押しに過ぎないかもしれませんが、それでも、ほんの少しのきっかけで、結婚の希望が叶い、幸せを実感する方もいることでしょう。そして、皆さんと一緒に日光市が結婚の希望が叶うまになることを目指します。

※生涯未婚率…50歳の時点で1度も結婚しない方の割合

